



飯高

ジャーナル

Iiko Journal



長野県飯山高等学校

令和2年 5月号 (R2.5.28)

通算 50号

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山2610番地 【TEL】0269 (62) 4175 【FAX】0269(81)1072 【URL】https://www.naganorc.ed.jp/iiyama/ 【E-mail】iiyama@naganorc.ed.jp

6/1(月)より通常授業再開に 休校中は「新しい学びのスタイル」を模索

新型コロナウイルス感染症対策のため4/10(金)から臨時休校措置がとられていましたが、5/19(火)より段階的に教育活動が再開されました。まず、5/19(火)～22(金)に準備登校が行われました。各学年1日ずつ、クラスを名簿前半と後半の2つに分け、午前と後半に分かれて登校。HRのみが行われ、健康観察や課題の配布・回収、オンライン授業の説明等がなされました。5/22(金)は3年生の希望者を対象とした日本学生支援機構の奨学金説明会が開かれました。

5/25(月)からは分散登校という形で授業が再開されました。感染リスクを減らすために、前週同様1日に1学年とし、各クラスを2つに分け、通常より10分短い40分間で午前・午後同じ授業を展開する変則的な形式で行われました。

5/27(水)に県教委から通知された「県立学校再開ガイドライン」にもとづき、6/1(月)からは約2ヵ月ぶりに本来の形での授業が展開されることになりました。6/3(水)～5(金)は休校中の課題の取り組み状況を確認する意味も含め、1学期中間テストが約2週間遅れで実施される予定となっています。授業再開にともない、教室の教卓前に飛沫防止のビニルシートシールドが天井から下げられるなどの感染予防対策が取られました。

臨時休校期間中は、2度にわたり生徒一人ひとりにあてて通信類や課題等を発送し自宅での学習に対応する一方、授業の補助教材として動画を作成するなど、職員も緊急事態の対応に追われました。(5/27現在、186本の授業動画が飯山高校生徒専用サイトにアップされています)。また、新たにグーグルクラスルーム(クラスや講座単位で生徒や学習内容を運営・管理でき、採点や質問投稿も可能なアプリ)を使用して、HR担任からの連絡や、授業動画や小テスト形式の課題等の配信も始まりました。



▲クラスを半分に分けて分散登校



▲課題等を封入したレターパック



▲教卓前に下げられたシールド



▲飯高生専用サイトにアップした授業動画の一例(左から数学・英語・地歴)

夏季高校総体・夏の甲子園・全国吹奏楽コンクールなどが次々と中止に 飯高祭も通常開催は断念の方向

緊急事態宣言発令にともない自粛要請は、授業のみならず運動部や文化部の活動にも大きな影響をもたらしました。夏の高校総体(インターハイ)及び県大会・地区大会がすべて中止となり、全国吹奏楽コンクールの開催も中止となりました。また、高知県で開催される全校高校総合文化祭(約2万人の高校生が参加)もWEBやビデオ等での参加の形態で実施する方向がうたわれました。さらに、昨年本校に歓喜をもたらした「夏の甲子園」も中止が決まり、「夢の続き」は来年以降に持ち越されました(中止を受けて野球部監督の吉池先生の記事が読売新聞に掲載されましたので下記に紹介します)。

校内で予定していた多くの行事も中止(または縮小)を余儀なくされています。生徒会の最大イベントである「飯高祭」も通常開催は難しい状況で、生徒会執行部を中心に新しい形のイベントを模索中です。

野球部の吉池監督は部員全員がスマートフォンで見られるチャットで、「トレーニング期間だ」と発破をかけ、ポジションごとの自主練習メニューを送信。部員が自宅で撮影した動画とともにバッティングフォームのアドバイスを求めるメッセージが届いたときには電話で相談にのってきた。「地方大会も中止ですか」。この日、中止をニュースで知った3年生の部員からメッセージが届いた。「監督として、3年生が輝ける場を作ることを約束する」と返信した吉池監督は、「目標の甲子園はなくなったが、何とか生徒に野球をさせてあげたい」と話した。(5/21付読売新聞より抜粋)

《中止または中止予定のおもな校内行事》

- 授業公開, PTA総会, 学年・学級PTA(5/23)
- 1年自然観察フィールドワーク(5/28)
- 芸術鑑賞(6/1)
- 人権教育講話(6/4)
- 春季クラスマッチ(6/12)
- 飯高祭(7/3～5)



▲昨年の飯高祭(後夜祭)

台風19号で浸水した第2グラウンドなどを職員で整備

休校中には教職員の手による整備事業や校内の消毒などがおこなわれました。

昨年の台風19号で浸水被害を受けたグラウンドも4月に入り土砂搬入などの復旧工事が始まりました。被害の大きかった第2グラウンド(皿川北側)もようやく整備が始まり、それに先だって4/30(木)、教職員がゴミの撤去・サッカーゴールの移動・防球ネットの整備など行いました。男子ソフトボール部の部室の泥をかぶったままになっていたパイプイスやスパイクなども片づけられました。また、生徒たちが気持ちよく登校できるよう、5/14(木)には学校正門南側水路壁面の草取り作業も行われました。



▲職員による清掃や消毒



▲第2グラウンドの防球ネット整備作業



▲正門南側水路の草取り作業